

2014年12月15日

若き知将が初の自著で明かす勝負哲学と組織作り 東洋大学陸上競技部長距離部門監督 酒井俊幸／著 『その1秒をけずりだせ』 駅伝・東洋大スピリッツ 刊行

2014年12月20日（土）から全国の書店にて発売

東洋大学陸上競技部長距離部門の監督を務める酒井俊幸が、自著『その1秒をけずりだせ』を刊行しました。12月20日より全国の書店にて発売を開始します。

本書では、2009年の監督就任以来、箱根駅伝で3度の総合優勝に導いた酒井俊幸が、その勝負哲学を初めて記します。2011年の箱根駅伝で、早稲田大学にわずか21秒差で敗れた悔しさを原点に、築いた信念、意識、戦略について過去の大会を振り返りながら語っています。選手の育成はもちろん、競技面以外での人としての成長を促し、チームを組織として作りあげていくリアルな姿から、東洋大チームの伝統やこれまで出会った選手たちの素顔を描いています。

【書籍概要】

タイトル	： その1秒をけずりだせ 駅伝・東洋大スピリッツ
著者	： 酒井 俊幸
発行	： ベースボール・マガジン社
頁数	： 208ページ
ISBNコード	： 978-4-583-10758-5 C0075
価格	： 本体 1,400円（税別）
発売	： 2014年12月20日（土）

【目次】

- 第1章 エースに頼るのでなくエースを生かす
- 第2章 三流選手が指導者に
- 第3章 結束——“チーム東洋”の組織力
- 第4章 チーム力を底上げする
- 第5章 敗戦に学ぶ
- 第6章 挑戦——その先の世界へ

【著者プロフィール】

東洋大学陸上競技部長距離部門監督 酒井俊幸（さかい・としゆき）



1976年5月23日、福島県生まれ。学法石川高校（福島）—東洋大学経済学部卒。大学時代には箱根駅伝に3回出場。卒業後はコニカ（現コニカミノルタ）に入社し、全日本実業団駅伝3連覇に貢献した。2005年に母校の学法石川高校に赴任し陸上部顧問を務めたのち、09年4月より東洋大学陸上競技部長距離部門監督に就任。箱根駅伝では10年、12年、14年と優勝を果たすなど、チームを常勝へと導いている。

